SuMPO EPD JAPAN VERIFIED

SuMPO環境ラベルプログラム (SuMPO EPD)

Third party verified

Environmental Product Declaration

In conformance with

ISO14025 | ISO14040 | ISO14044

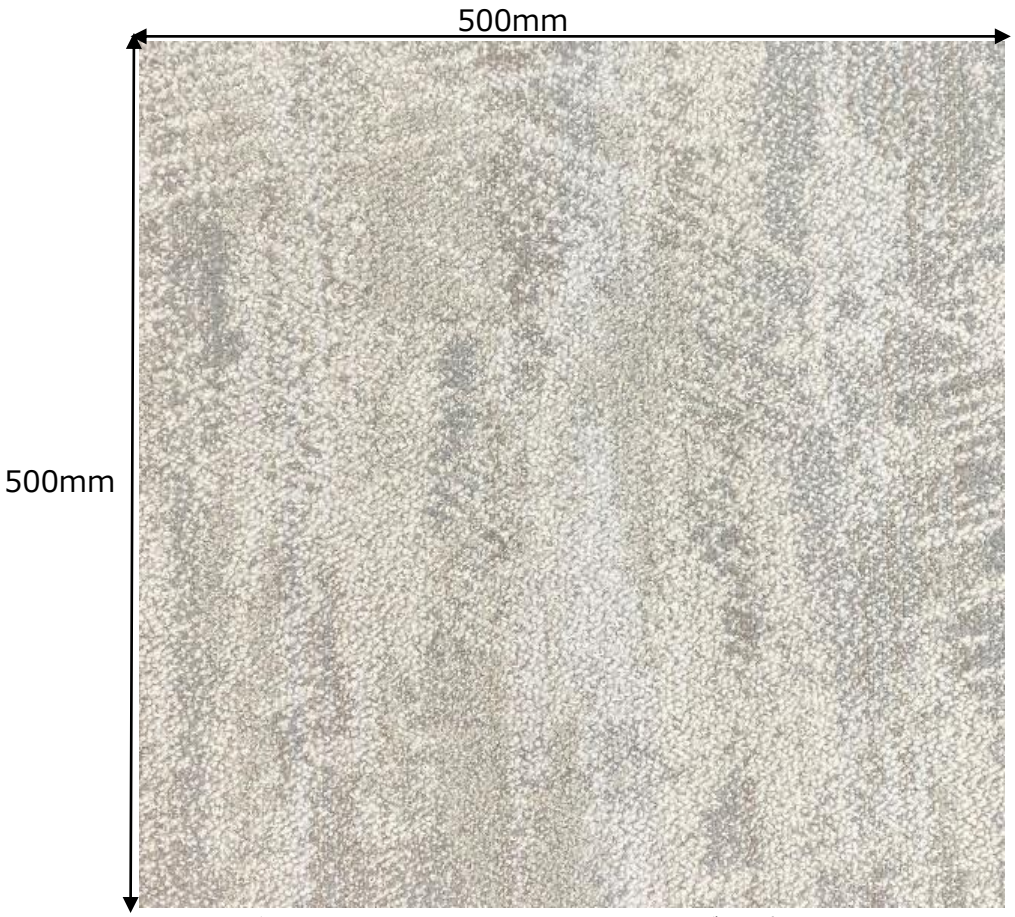
KAWASHIMA SELKON

株式会社川島織物セルコン

KAWASHIMA SELKON TEXTILES CO.,LTD.

タイルカーペット ロドスステッチ

Tile Carpet RhodesStitch



※イメージ画像であり、本EPDは2色の色違いを含むグループ製品EPDとなります。

登録番号	検証合格日	公開日	検証有効期間	EPDタイプ
SuMPO-EPD-2606-208-1	2026/10/2	2026/10/14	2031/10/1	グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930：2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
https://ecoleaf-label.jp/epd/search

●基本情報

＞プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

＞GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.2.0
PCR名称	タイルカーペット
PCR登録番号	PA-821000-AN-05
PCR認定日	2023/5/10
レビューパネル委員長（所属）	神崎　昌之（一般社団法人サステナブル経営推進機構）
PCR有効期限	2028/5/9
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

＞検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2017に従った第三者検証		
	□ 内部	■ 外部	
	□ 検証員による第三者検証	■ 検証機関による第三者検証	□ EPDシステム認証による第三者検証
検証機関（検証実施者）	一般財団法人カケンテストセンター（伊藤 未緒）		

＞準拠規格

準拠規格	■ ISO14040:2006	■ ISO14044:2006	□ ISO14067:2018
	■ ISO14025:2006	■ ISO21930:2007	□ ISO21930:2017
	□ EN15804+A2	□ EN50693:2019	□ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。
EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名（日・英）	株式会社川島織物セルコン フロアカバリング開発部 フロアカバリング開発グループ KAWASHIMA SELKON TEXTILES CO.,LTD. Floor Covering Development Department, Floor Covering Development Group
住所	大阪府吹田市広芝町8-26
問い合わせ先	06-6369-6088
LCA算定実施者（所属）	株式会社川島織物セルコン
事業者概要	事業概要：【インテリア室内装飾織物】カーテン、カーペット、壁装、インテリア小物などの製造販売・室内装飾工事 【呉服・美術工芸織物】帯、緞帳、祭礼幕、和装小物などの製造販売 資本金：100百万円 製造拠点：本社 市原事業所

●製品情報

製品名称（日・英）		タイルカーペット ロドスステッチ Tile Carpet RhodesStitch		
製品の型式		SFR1790-1, SFR1790-2		
製品仕様	製品機能	インテリアの内装床仕上げ材		
	製品質量	1.27±0.2kg/枚	換算係数	1.27±0.2kg/枚
	製品の用途	主にオフィスやホテル、商業施設など		
	技術性能	JIS L 4406 タイルカーペット 準拠		
耐用年数	年数	約7年（PCRで定められた想定使用期間を耐用年数とした）		
	使用条件	なし		
	年数を設定した根拠	PCRより		
製造サイト（製造拠点）		製造委託先工場B（大阪府）		
製品概要		製品重量 1.27±0.2kg/枚 全厚 7.5±0.5mm サイズ 500mm×500mm 素材 パイル　：ナイロン バッキング：再生PVCリファインシート 基布　：ポリエステル		
製品ウェブサイト		https://www.kawashimaselkon.co.jp/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
ナイロン	10.9	0.14	kg
基布（ポリエステル）	2.4	0.03	kg
PVC	8.5	0.11	kg
可塑剤	7.5	0.10	kg
炭酸カルシウム	31.0	0.39	kg
生石灰	0.4	0.01	kg
ガラス不織布	0.8	0.01	kg
再生塩化ビニル	38.5	0.49	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
ダンボール	100.0	0.05	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO_2 eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	–	–
提供先にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	–	–

●LCA 関連情報

＞EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	□ 単一製品	■ グループ製品	□ 業界製品
	サイトタイプ	■ 単一サイト	□ 複数サイト	
地理的範囲		グローバル		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		本製品は色違い2色のグループ製品EPDである。活動量および当てはめる原単位が同一であることから、代表性は確保されている。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		本製品は色違い2色のグループ製品EPDである。活動量および当てはめる原単位が同一であることから、算定結果も同一となる。		
複数製品EPDの説明		製品群の範囲は、色違いの2色になります。		

＞LCA関連情報

宣言単位		タイルカーペット1枚あたり		
宣言単位当たりの質量（質量への換算係数）		1.27±0.2kg/枚		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）		–		
システム境界		□ Cradle-to Gate	■ Cradle-to-Gate with options	□ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア		クラウド版MiLCA ver.1.2.2.0		
LCIデータベース		AIST-IDEA Ver.3.5.1		
特性化モデル		気候変動：IPCC第6次評価報告書（IPCC,2021年）、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ		再生塩化ビニルコンパウンド リファインパウダー IVP1108（JR-BA-23002E）		
二次データ品質		GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点		製造委託先工場B（タイルカーペット製造）、製造委託先工場C（再生塩ビシート製造）		
一次データ収集期間		製造委託先工場B：2024/12～2025/11（1年間）、製造委託先工場C：2025/4～2026/3（1年間）		
生物由来炭素の取り扱い		■ 0/0アプローチ	□ -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	使用有無	■ 国や地域の平均的な電力ミックス	□ その他	
	種類	–		
	購入日	–		
	発行元	–		

＞算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	■	–	–	–	–	–	–	–	–	–	■	–	■	–

■ ：算定対象　– ：算定対象外

＞アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアローケーションを検討した。
プロセスの細分化によるアロケーション回避が困難であり、製造委託先工場B（タイルカーペット製造）、製造委託先工場C（リサイクルシート製造）で製造される共製品は類似製品であることから、生産量による物理量アロケーションで妥当であると判断した。

＞カットオフ

カットオフは行っていません。

＞システム境界

PCRに基づいて設定しています。
使用段階は算定に含まれていません。
時間的システム境界は100年である。

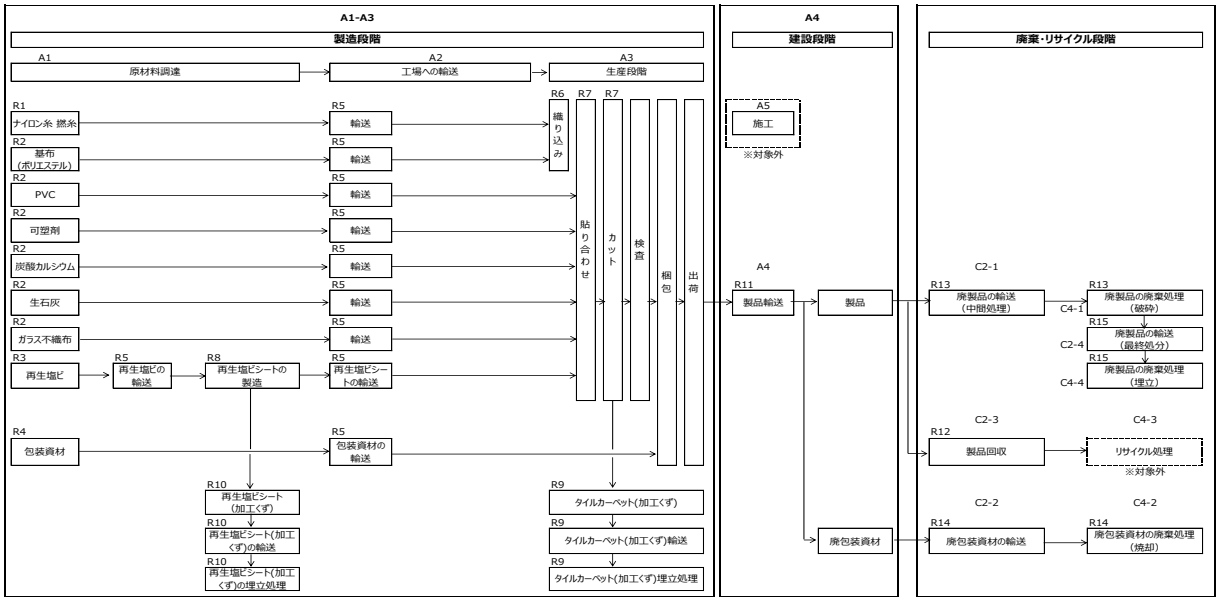
＞シナリオ

モジュール	説明
A1	再生塩ビの原材料の輸送手段と積載率、および再生塩ビシートの製造工程の加工くずの輸送距離と積載率は、PCRのシナリオを採用した。
A2	原材料、容器包装の輸送の積載率は、PCRのシナリオを採用した。
A3	タイルカーペット製造工程の加工くずの積載率は、PCRのシナリオを採用した。
A4	製品輸送の輸送手段、輸送距離、および積載率は、PCRのシナリオを採用した。 ※輸送距離について、当社のタイルカーペットの納品先は、基本は大都市圏の東京や大阪、名古屋のオフィスビルがメインとなります。（実際に直近1年間の納品割合は、この三都市で約85％を占めています。）それの加重平均を加味して500kmとしています。実際東京-大阪間が約500kmで、大阪や名古屋は500km以下です。
C2	廃棄輸送、リサイクル回収輸送における、輸送距離、輸送手段、および積載率は、PCRのシナリオを採用した。

＞電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2022年における日本平均の系統電力データを用いて算定を行いました。

＞ライフサイクルフロー図



●算定結果

＞ライフサイクル影響評価結果

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
気候変動 - 合計	kg-CO_2eq	3.65E+00	8.30E-02	7.90E-02	3.81E+00	1.27E-01	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.87E-01	–	4.22E-01	–
気候変動 - 化石由来	kg-CO_2eq	2.20E+00	8.29E-02	6.89E-02	2.35E+00	1.27E-01	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.87E-01	–	2.38E-01	–
気候変動 - 生物由来	kg-CO_2eq	1.09E-02	1.60E-05	1.01E-02	2.10E-02	2.43E-05	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.28E-05	–	1.84E-01	–
気候変動 - 土地利用及び改変	kg-CO_2eq	1.44E+00	8.38E-05	4.42E-05	1.44E+00	1.31E-04	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.27E-04	–	2.45E-04	–
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.62E-07	1.01E-12	1.20E-10	1.62E-07	1.54E-12	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.48E-12	–	4.47E-10	–
富栄養化	kg-PO_4^{3}-eq	8.78E-04	3.86E-10	4.70E-08	8.78E-04	5.91E-10	–	–	–	–	–	–	–	–	–	7.76E-10	–	7.65E-07	–
酸性化	kg-SO_2eq	2.40E-03	1.20E-04	5.07E-05	2.57E-03	1.80E-04	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.05E-04	–	2.73E-04	–
光化学オキシダント生成	kg-C_2H_4eq	6.74E-05	9.18E-07	5.10E-07	6.88E-05	1.21E-06	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3.76E-06	–	2.40E-06	–
追加オプションのライフサイクル影響評価指標																			
非生物資源枯渇 - 鉱物	kg-Sbeq	3.74E-05	3.49E-10	1.85E-07	3.76E-05	5.33E-10	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4.69E-10	–	1.00E-06	–
気候変動 - 航空機輸送	kg-CO_2eq	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―一次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再生可能一次資源 - エネルギー（RPR_E）	MJ	7.24E+00	5.25E-04	3.73E-01	7.62E+00	8.01E-04	–	–	–	–	–	–	–	–	–	5.54E-04	–	2.01E+00	–
再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（RPR_M）	MJ	2.63E-01	7.84E-07	1.25E-05	2.63E-01	1.20E-06	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.71E-06	–	8.40E-05	–
非再生可能一次資源 - エネルギー（$NRPR_E$）	MJ	3.16E+01	9.15E-01	1.45E+00	3.40E+01	1.40E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2.06E+00	–	5.42E+00	–
非再生可能一次資源 - エネルギー含有材料（$NRPR_M$）	MJ	1.11E+01	3.48E-06	5.11E-04	1.11E+01	5.32E-06	–	–	–	–	–	–	–	–	–	5.13E-06	–	3.19E-03	–

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―二次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
二次材料	kg	6.10E-02	3.41E-07	4.72E-05	6.11E-02	5.22E-07	–	–	–	–	–	–	–	–	–	6.84E-07	–	2.56E-04	–
再生可能二次燃料	MJ	2.72E-02	2.24E-07	4.39E-06	2.72E-02	3.39E-07	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2.88E-07	–	7.78E-05	–
非再生可能二次燃料	MJ	4.44E-02	1.37E-06	1.02E-05	4.44E-02	2.09E-06	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.31E-06	–	5.14E-04	–
回収エネルギー	MJ	1.14E-01	8.60E-06	6.64E-03	1.21E-01	1.31E-05	–	–	–	–	–	–	–	–	–	8.21E-06	–	3.57E-02	–

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報―非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
非生物資源枯渇-化石	MJ	3.95E+01	1.13E+00	1.14E+00	4.18E+01	1.73E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2.55E+00	–	2.77E+00	–
淡水の消費	㎥	2.59E-01	4.29E-05	6.49E-05	2.59E-01	6.60E-05	–	–	–	–	–	–	–	–	–	9.64E-05	–	1.69E-03	–

＞廃棄物関連情報

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	–	–	–	–	–	–	–	–	–	0.00E+00	–	0.00E+00	–
無害廃棄物	kg	1.15E-01	7.47E-05	5.02E-02	1.65E-01	1.14E-04	–	–	–	–	–	–	–	–	–	9.27E-05	–	1.08E+00	–
高レベル放射性廃棄物	㎥	1.60E-11	1.29E-15	8.95E-13	1.69E-11	1.97E-15	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.47E-15	–	4.82E-12	–
中および低レベル放射性廃棄物	㎥	1.63E-08	1.35E-12	9.11E-10	1.72E-08	2.05E-12	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1.49E-12	–	4.91E-09	–

＞出力フローに関する環境情報

			資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
									資材関連					光熱水関連						
			A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再利用可能な部品		kg	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
リサイクル用材料		kg	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
エネルギー回収用材料		kg	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
廃棄物からの排出エネルギー（エネルギー回収効率≧60%）		MJ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
廃棄物の焼却（エネルギー回収効率＜60%）	廃棄物焼却処分量	kg	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	回収エネルギー	MJ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
廃棄物の埋立て（廃棄物の埋立てにより発生する埋立ガスからのエネルギー回収）	廃棄物埋立処分量	kg	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	回収エネルギー	MJ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

＞LCA算定結果に関する説明

・本製品は、販売開始前の製品である。
・材料比率は設計値を使用しています。
・製造段階においては「同一サイト・同一ラインの類似既製品の実績データ」を代用していることから、同等の結果が得られています。
・本EPDの算定において、［再生塩化ビニル］のバックグラウンドデータとして［再生塩化ビニルコンパウンド リファインパウダー IVP1108］のEPD*を使用した。
*［再生塩化ビニルコンパウンド リファインパウダー IVP1108］（登録番号：JR-BA-23002E）、SuMPO環境ラベルプログラム、2023年6月23日発行
引用元EPDはIDEA Ver.2.1.3に基づき算定されており、本EPDで使用するデータベース（IDEA Ver.3.5.1）とのバージョン差異により、資源消費区分、放射性廃棄物、二次資源、水資源および土地利用起因の気候変動等の項目において粒度・カバレッジの差異が存在する。
当該差異の結果への影響は限定的である可能性が高いが、結果の解釈および比較に際しては留意を要する。

●追加環境情報

＞LCAに関連しない追加環境情報

–

＞有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
–	–	–
–	–	–
–	–	–

建材および建設製品からの危険物質の放出
–

●用語の定義

–

●参考文献

・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
・ISO21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products
・再生塩化ビニルコンパウンド リファインパウダー IVP1108（JR-BA-23002E）

●改訂履歴